

名古屋金山の再開発と公園

写真上は名古屋都市センターから撮った金山周辺。よく眺める景色だ。天気の良い日には遠くに御岳なども望める。いちばん手前が JR と名鉄の駅。うしろの茶色の建物が「アスナル金山」。その奥に見える白い建物が「市民会館」だ。



朝日新聞 3 月 13 日夕刊から一名古屋市は、金山総合駅（中区、熱田区）に直結する商業施設「アスナル金山」の解体を決めた。跡地には高層ビルを建てる方針。市は、10 年後のリニア中央新幹線開業を視野に駅周辺の約 41 ㊦を再開発し、副都心機能の強化を目指す。再開発構想では、まず 1972 年開館で老朽化が目立つ日本特殊陶業市民会館を北隣の古沢公園（写真下は先日の夕方撮影）に移設。跡地に商業施設と代替りの公園を整備。アスナルは、その後に解体する。金山駅には JR、名鉄、地下鉄が乗り入れる。1 日約 44 万人の乗降客数は、市内で名古屋駅の次に多い。市の担当者は「公有地の再開発を起爆剤に、金山をよりにぎわいのある街にしたい」と意気込む。



名駅周辺と同様に、ここ金山でもリニア開業を見すえた再開発だ。リニア頼みの過大需要予測はないのか。現状の施設利用、需要見込みをきちんと踏まえ、開発構想が練られているのか。なにより住民・利用者の声をよく聞き、構想をじっくり検討してほしい。リニア開業ばかりに目が向き、スケジュールが優先されるのは避けるべきだ。

中日新聞 3 月 6 日朝刊県内版の記事「子どもの居場所 迫る開発の影」を思い出した。リードには「リニア中央新幹線の開通に向けて開発に沸く名古屋市中心部で、子どもたちの育ちの場が脅かされている。幼稚園の隣で高層マンションの建設計画が進んだり、保育園がいつも使う近くの公園がなくなりそうだったり。子どもが健やかに育つ環境を社会としてどう考えていくのか」と。

幼稚園は中区丸の内のおフィス街にある「名古屋教会幼稚園」。愛知県庁の西庁舎に近く、付近を歩いたことがある。狭い敷地に 15 階建て分譲マンションが建つと、太陽、日照権が奪われる。保育園は金山総合駅に近い「かわらまち保育園」。

毎日のように園庭代わりに利用している古沢公園がなくなりそうで困っている。金山地区の再開発の一環で、市民会館の建設計画が持ち上がっているためだ。昨年 10 月末に始めた公園の存続を求める署名は、(3 月) 1 日現在で 7986 人分。日下美知代園長は「計画は否定しないが、なぜ子どもたちが遊ぶ公園をつぶされないといけないのか」と納得できずにいる。

(2017 年 4 月 8 日)